

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名		所在地		
北海道メディカル・スポーツ専門学校		平成24年11月8日	塩野 寛		〒061-1936 恵庭市恵み野北2丁目12-4 (電話) 0123-36-5500		
設置者名		設立認可年月日	代表者名		所在地		
学校法人 産業技術学園		昭和63年1月5日	宮川 藤一郎		〒061-1936 恵庭市恵み野北2丁目12-1 (電話) 0123-36-8119		
目的	社会環境の変化により多様化するニーズに対応でき、東洋・西洋医学教育を通して人々の健康をサポートできる人材、きめ細かい配慮のできる人材を育成し、対人スキル、自己啓発スキルの両面を合わせ持った人材として社会に貢献できる鍼灸師の育成を行う。						
分野	課程名		学科名		専門士	高度専門士	
医療	医療専門課程		鍼灸学科(昼間)		平成6年文部科学大臣告示第84号	-	
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間		75	39	1	0	0
生徒総定員		生徒実員	専任教員数		兼任教員数	総教員数	
90人		49人	5人		29人	34人	
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日		成績評価		■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 単位認定試験(実技含む), 出席状況		
長期休み	■学年始め:4月1日～5日 ■夏季:8月9日～8月31日 ■冬季:12月20日～1月11日 ■学年末:3月31日		卒業・進級条件		学生は教科課程表に従い進級・卒業認定に必要な科目の単位を修得する。単位の成績は100点法又はABCDの4段階法で優・良・可・不可を表示する。合格又は不合格は合格基準60点以上を合格とし、満たない場合は不合格とする。再試験の成績評価は合格・不合格とし、60点以上は合格のC評価(可)とする。不合格はD評価(不可)として単位の認定を行わない。進級・卒業の認定は、判定会議において学校長が行う。		
生徒指導	■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 面談・保護者との連携		課外活動		■課外活動の種類 地域清掃(年1回) 陸上サポート ■サークル活動: 有		
就職等の状況	■主な就職先、業界等 鍼灸院, 病院, クリニック ■就職率 ^{※1} : 100% ■卒業者に占める就職者の割合 ^{※2} : 92% ■その他 面談・保護者との連携 (平成26年度卒業者に関する平成27年5月1日時点の情報)		主な資格・検定等		おもてなし検定 JESCカウンセラー資格 はり師・きゅう師		
中途退学の現状	■中途退学者 1名 ■中退率 2% 平成26年4月1日 在学者 49名 (平成26年4月1日 入学者を含む) 平成27年3月31日 在学者 48名 (平成27年3月31日 卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 進路変更のため ■中退防止のための取組 一人一人に合わせたサポートを行う。進路アドバイザーも含め対応している。学校全体として中途退学者ゼロを目指している。						
ホームページ	URL: http://www.hms.hht.ac.jp/						

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

企業・業界の求める知識・技術が教育課程に反映されるように業界の動向に関して情報交換を行い、教育課程の改善および改定を定期的実施することを目的とする。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成27年8月31日 現在

名前	所属	
南雲 三枝子	はりきゅう南雲治療院	院長
瀧田 利恵	札幌鍼灸柔整マッサージ師会	理事 学術局長
阪 英明	阪はりきゅう院	院長
高木 是	公益財団法人 千歳市体育協会	評議員
大高 千咲子	北海道全員健康株式会社	代表取締役
林 紀博	札幌柔道連盟	理事
上林 祐貴	こくしゅ塾 院長 (卒業生)	札幌エリアマネージャー

(開催日時)

平成27年 2月7日 10:00 ~ 11:30 北海道ハイテクノロジー専門学校 視聴覚室

平成27年 7月12日 13:30 ~ 15:30 北海道ハイテクノロジー専門学校 第1校舎 113教室

平成28年 2月7日 14:00 ~ 16:00 (実施予定)

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

厚生労働省で定められているあん摩マッサージ指圧師・はり師およびきゅう師養成施設指導要領(厚生省医務局長通知)「9. 実習に関する事項」により、学外実習は認められていないため、学内の附属鍼灸院にて臨床実習を行っている。臨床実習では、曜日により担当の先生が異なるため、様々な治療法を学び、鍼灸師に求められる基本的な業務及び患者対応など実習を通じて学ぶことを方針としている。

科目名	科目概要	連携企業等
鍼灸臨床実技	各種医療機関を想定し患者対応や治療技術の習得と開業時に必要な知識を学習する。	ますだ鍼灸院
総合手技演習	鍼灸術を含め総合的な手技療法の理論と実技を学習する。	鈴木みゆき針灸院 天池針灸院

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

学園および学校が実施する担任研修、研究授業、教務部長会議などを通じて教員としての教授力向上を図る。専門スキルに関しては近年、重要視されている統合医療・代替医療に対し、より多くの専門知識を得ることで教育力向上をはかるとともに、臨床現場の知識・技術を学校教育の現場に活かし、指導力を向上させるために行うことを目的とする。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成27年8月31日 現在

名前	所属	
日光 大輔	医療法人社団慶心会 ラ・デュース恵み野	卒業生
山田 美香	保護者	保護者
根占 克哉	北海道恵庭南高等学校	教諭
石川 俊則	トーエイ株式会社	代表取締役
林 紀博	札幌柔道連盟	理事
鉢 直人	一般社団法人 ノルディーア北海道	代表/理事長
福良 均	北海道鍼灸マッサージ師会	常任理事
南雲 三枝子	はりきゅう南雲治療院 院長 全日本鍼灸学会	北海道支部学術委員

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: <http://www.hms.hht.ac.jp/sp/news/jouhoukouka.html>

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: <http://www.hms.hht.ac.jp/sp/news/jouhoukouka.html>

授業科目等の概要

(医療専門課程鍼灸学科) 平成27年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			医療概論	医史より先人の業績を学び、医の倫理を中心に学習を進め、医療を担う人間の多様な価値観や寛容の精神を養う。	1前	16	1	○			○		○		
○			文章表現法	日本語表現の基礎を学び、文章の理解力や表現力を習得する。	1前	32	2	○			○				○
○			生物学	生物の分類を始め、遺伝・遺伝子等、生物科学の基礎知識を学習する。	1前	32	2	○			○				○
○			心理学	医療人として必要な心理学の基礎を学び、全人医療の理解を深める。	1前	32	2	○			○				○
○			英語	日常会話の習得に力点を置き、外国人に対応できる人材を育成する。	1前	32	2	○			○				○
○			社会福祉学	社会福祉と社会保障制度の理解・医療と社会福祉の関連について学ぶ。	1後	32	2	○			○				○
○			栄養学Ⅰ	基礎栄養学を学び、疾病と栄養素の関係を学ぶ。	1後	32	2	○			○				○
○			栄養学Ⅱ	東洋医学を基本とした栄養学を学び、疾病と食の関係を学ぶ。	2後	16	1	○			○				○
○			情報科学	OA機器の操作の基本を習得し、情報社会に通用する人材の育成を図る。	1前	30	1		○		○				○
○			カウンセリング理論	人間関係の中での受容・共感・傾聴の理論と実践を学ぶ。	2前	32	2	○			○				○

○			総合演習Ⅰ	地域社会との関係作りや、人間関係の構築をしていく中で、社会人として必要なルールやマナーを学ぶ。	1 後	60	2		○	○	○						
○			総合演習Ⅱ	地域社会との関係作りや、各種講演会・研修を通じ職業人としての対人スキルを学ぶ。	2 通	150	5		○	○	○						
○			総合演習Ⅲ	地域社会との関係作りを通じて、臨床に必要な知識と技術を身につける。	3 通	150	5		○	○	○						
○			解剖学Ⅰ	人体を構成する器官に関する知識を学習し、その特徴や名称を理解する。	1 通	128	8		○		○						○
○			解剖学Ⅱ	人体の構造を学習し、全体的及び局所的に観察して、施術との関連を深め理解する。	2 前	32	2		○		○						○
○			生理学Ⅰ	人体機能の物理的・化学的な仕組みを学習し、生体の全機性や生命保持について理解する。	1 通	128	8		○		○						○
○			生理学Ⅱ	人体機能の仕組みの基礎知識を応用し、臨床に繋がる知識を習得する。	2 前	32	2		○		○						○
○			病理学	疾病の原因や経過及び各種病変の特徴について総論的に学習する。	2 通	48	3		○		○						○
○			臨床医学各論	内科の系統別疾患の原因、症状及び治療法を学び、各疾患の特徴を理解し、臨床実習に応用できる知識を習得する。	2 通	64	4		○		○						○
○			リハビリ概論	リハビリテーションの理念を理解し、リハビリテーション医学の役割を学び、適応疾患の機能回復訓練の施術を習得する。	2 通	48	3		○		○						○
○			臨床医学総論	疾病の診断方法及び観察検査の一般について学習し、実際の臨床応用に適応する知識と技能を習得する。	1 後	48	3	○			○						○
		2 前								○					○		
○			公衆衛生学	環境問題、高齢者問題等現代社会の問題点と疾病との関連を学習し、施術に必要な物理的・化学的消毒法及び国の衛生諸政策について理解する。	2 通	48	3		○		○						○

○		関係法規	法の精神を学び、施術業務に関する法規を理解する。	3 前	16	1	○			○	○			
○		経絡経穴概論	十二経脈及び奇経脈等の理論と取穴について学習する。	1 通	64	4	○			○	○			
○		鍼灸理論Ⅰ	鍼・灸の治療道具の名称や治療技術の基礎知識を学習することで、今後の鍼灸の専門教育に必要な用語を理解する。	1 前	16	1	○			○	○			
○		鍼灸理論Ⅱ	鍼・灸の治療に対して起こると推測されるリスクに対する管理方法を学習し、事故を未然に防ぐ知識を会得する。	2 前	16	1	○			○	○			
○		鍼灸理論Ⅲ	鍼・灸の一般的及び特殊な治効理論を学習し、関連学説の理解を深め臨床に応用できる研究的態度を育成する。	3 前	16	1	○			○	○			
○		東洋医学概論Ⅰ	東洋医学の哲学・思想等の基礎基本的な考え方について学習する。	1 通	64	4	○			○	○			
○		東洋医学概論Ⅱ	東洋医学の哲学・思想等を学び、実践に必要な診断法・治療法等を学習する。	2 前	16	1	○			○	○			
○		東洋医学臨床論Ⅰ	各種疾病の東洋的な見解や治療の方法と治療穴について学習する。	2 通	64	4	○			○	○			
○		東洋医学臨床論Ⅱ	各種疾病の東洋的な考え方と西洋的な考え方を学習し、治療に必要な知識を学習する。	3 前	32	2	○			○	○			
○		鍼灸実技Ⅰ	鍼・灸実技の基本及び消毒方等鍼灸治療の基礎に必要な知識と技術について学習する。	1 通	90	3			○	○	○			
○		鍼灸実技Ⅱ	基礎実技から臨床実技基礎を結びつける知識と技術を学習する。	2 通	210	7			○	○	○			
○		鍼灸実技Ⅲ	臨床を想定し、各疾病に対しての本治・標治等の治療に必要な知識を学習する。	3 通	180	6			○	○	○			
○		応用生物学	細胞から生物体の構成と各部の働きと応用機能を学ぶ。	3 通	64	4	○			○			○	

○		鍼灸臨床実技	各種医療機関を想定し患者対応や治療技術の習得と開業時に必要な知識を学習する。	3 後	45	1			○	○			○	○
○		総合手技演習	鍼灸術を含め総合的な手技療法の理論と実技を学習する。	3 通	240	8			○	○			○	○
○		応用演習	予防医学を含め健康全般を捉え鍼灸師の役割に必要な知識と技術を習得の確認をする。	3 通	60	2			○	○		○		
合計				38科目			2415単位時間(115単位)							

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
		1学年の学期区分	2期
		1学期の授業期間	43週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。